

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学においては、文京区の～森鷗外生誕150年記念事業～の一環である、森鷗外作品を読む「朗読コンテスト」を文京区との共催事業として、本学 AtomiBlossomHall にて開催致しました。全国から多数の応募があり、当日も成澤廣修文京区長を始め、学外からの多くの森鷗外ファン、学園関係者が参加し、盛況の内に終了致しました。この事業の成功は文京区からも高い評価を頂きました。学生の活躍の場を広げ「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」を目指した、学内外での学生の活躍を紹介致します。

記事内容

- 平成24年度 研究助成・学内講演会 報告 (2)
- 全学共通科目運営センター主催 FD 講演会実施報告 ○キャリアデザイン講演会実施報告 (3)
- 森鷗外生誕150年記念事業 (4)
- 埼玉県和光市との包括協定の締結について ○英国国立スターリング大学から学長来校 (5)
- 文京博覧会に出展
- CLUB NOW ○学生会情報 (6)
- 川口B級グルメフェスティバルに参加 ○小田原の地域活性化プランを提案 ○文京区コミュニティバス「Bーぐる」... (7)
- ゼミ紹介 ○現代文化表現学科 学科報『Visions』第3号刊行 (8)
- 祭報 ○子ども大学にいざへの参加 ○活躍するOGの企業訪問 (9)
- 一ザ・就職ー 平成24年度就職懇談会の総括と今年度就職活動の行方 (10)
- 百人一首・跡見花蹤新収資料展 ○花蹤の筆墨 ○平成25年度 花蹤記念資料館 開館予定 (11)
- 春の行事予定 ○履修申請 ○新年度オリエンテーション予定 (12)
- 平成24年度 保護者説明会 終了報告 ○桜まつり・オープンキャンパスのご案内

平成24年度 研究助成・学内講演会 報告

■特別研究助成

単位：千円

職位/氏名	課題	助成費
文学部 教授/岩本 憲司	楠母致子説とその周辺	500
文学部 教授/奈倉 哲三	「戊辰戦争期江戸出来事・情報総覧(月日表)」作成のための、膨大な史料群(未刊原文書・貴重写本)の写真・複写、及び原史料収集	1,052
文学部 教授/横田 恭三	英国と仏国に分蔵された唐の〈化度寺塔銘〉拓本の研究	645
文学部 助教/阿部 一哉	跡見メソッドの確立を目指して ～ドイツ語教授法・学習法についての基礎研究	900
文学部 教授/山口 豊一	幼児・児童の学校適応に関する研究 ―学校適応感尺度の作成を中心として―	500
マネジメント学部 准教授/丹野 忠晋	医療の流通経済分析の基盤構築	703
マネジメント学部 助教/許 伸江	東京都東部における地域活性化の現状と課題および発展性について	800
マネジメント学部 教授/塩月 亮子	沖縄の世界遺産と観光 ―聖地を用いたスポーツイベントの事例から―	900

■学術図書出版助成

単位：千円

職位/氏名	書名	出版社	助成費
文学部 助教/酒井 智宏	トートロジーの意味を構築する ―「意味」のない日常言語の意味論―	くろしお出版	2,000
文学部 准教授/宮崎 圭子	ストレスケアのためのサイコエデュケーション	遠見書房	2,000

■留学

職位/氏名	期間	留学する大学等
文学部 教授/泉 雅博	国内 長期 2012/4/1～2013/3/31	神奈川大学 日本常民文化研究所
文学部 教授/岩田 秀行	国内 長期 2012/4/1～2013/3/31	東京大学大学院 人文社会系研究科
マネジメント学部 准教授/櫻川 幸恵	海外 長期 2012/4/1～2013/3/31	Columbia Business School, Center on Japanese Economy and Business

■後援会 外国出張助旅費

職位/氏名	目的	出張先	出張期間
文学部 准教授/香山 はるの	研究	アイルランド	H24.8.25-9.3
マネジメント学部 教授/菊野 一雄	研究	フランス・イギリス	H24.8.20-9.8
マネジメント学部 准教授/丹野 忠晋	学会	ギリシャ	H24.7.4-7.10
マネジメント学部 教授/山澤 成康	研究	ベトナム・香港	H24.11.15-11.20
マネジメント学部 教授/種田 明	学会・研究	台湾	H24.11.4-11.11
マネジメント学部 教授/塩月 亮子	研究	台湾	H24.8.19-8.23

■科学研究費補助金

単位：千円

職位/氏名	種目	期間	課題	H23直接経費決定額
マネジメント学部 准教授/丹野 忠晋	基盤研究(C)	H21～H24	入札談合の経済分析	500
文学部 教授/中野 敬子	基盤研究(C)	H22～H24	認知行動療法を用いたインターネットによる予防的ストレス対処プログラムの開発	500
文学部 助教/酒井 智宏	若手研究(B)	H22～H24	意味排除主義と自然言語の規範性に関する研究	800
文学部 准教授/酒井 佳永	若手研究(B)	H22～H24	うつ病休職者の同居家族における負担と家族の支援に関する研究	900
文学部 教授/山口 豊一	基盤研究(C)	H23～H25	学校コミュニティでスクールカウンセラー等の心理職を活用するためのシステムの開発	1,200
マネジメント学部 准教授/禿 あや美	若手研究(B)	H23～H25	小売業における職務分析・職務評価手法を用いたデータによる実現可能な均等待遇の検証	900
マネジメント学部 助教/山下 奨	若手研究(B)	H23～H25	キャッシュフローの配分計算としての会計上の利益計算と企業結合会計における測定問題	660
文学部 助教/阿部 一哉	若手研究(B)	H24～H25	日独「句例」対訳データベースの構築	1,400
マネジメント学部 助教/内村 理奈	基盤研究(C)	H24～H26	近世・近代フランスの服装規範にみられるジェンダー観	1,300

平成24年度 全学FD講演会 開催報告

〈全学共通科目運営センター〉

●FD講演会

日 時：平成24年10月31日(水)14:40～16:10

場 所：新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ：21世紀型教育とICT活用教育について

講 師：竹元 賢治氏

(インテル株式会社教育統括部教育事業開発部長)

講 師：植田 恭代氏(本学文学部人文学科 准教授)

「日本古典文学の演習から」

横山 太郎氏(本学文学部現代文化表現学科 准教授)

「SNSを利用したクラス活性化の試み」

藤澤 伸介氏(本学文学部臨床心理学科 教授)

「臨床心理学演習(I)での試み」

〈大学院人文学部研究科〉

●日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム

◆第11回◆

日 時：平成24年6月30日(土)15:00～17:30

場 所：文京キャンパス M2308教室

テーマ：日本を考える ―韓国と中国の視点から―

講 師：姜 政模(カン・ジョンモ)氏

(成城大学大学院文学研究科 在籍)

向 麗君(シャン・リーチェイン)氏

(成城大学大学院文学研究科 在籍)

参加者：日本文化専攻担当教員、大学院生、学部生 等

平成24年度 学内講演会 開催報告

〈文学部〉

●FDワークショップ

日 時：平成24年10月24日(水)13:00～14:30

場 所：新座キャンパス2282教室

テーマ：演習科目の運営と指導法

◆第12回◆

日時：平成24年11月17日(土) 15:00~17:30
 場所：文京キャンパス M2308教室
 テーマ：年中行事から文化の深層を見る
 「お正月」・「春節」の比較研究—
 講師：何 彬 (カ・ヒン) 氏
 (首都大学東京人文社会系社会人類学教室 教授)
 参加者：日本文化専攻担当教員、大学院生、学部生、研究生 等

(マネジメント学部)

●2012年度環境経営学会研究報告大会公開講演会

日時：平成24年5月19日(土) 13:00~14:20
 場所：文京キャンパス M2101プロッサムホール
 テーマ：震災以降の環境倫理と環境経営の課題
 講師：鬼頭 秀一氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
 主催：環境経営学会 共 催：跡見学園女子大学

●マネジメント学部創設10周年記念シンポジウム

日時：平成24年6月2日(土) 15:00~17:30
 場所：文京キャンパス M2101プロッサムホール、M2301教室(中継)
 テーマ：ネクストジャパン—日本復興計画を考える—
 ゲストコメンテーター：杉尾 秀哉氏 (TBS テレビ解説室長)
 参加者：357名

●マネジメント学部主催 特別講演

日時：平成24年11月3日(土) 15:30~16:30
 場所：新座キャンパス3155教室
 テーマ：グローバル社会におけるリーダーシップ
 講師：吉田 和正氏 (インテル株式会社 代表取締役社長)
 参加者：44名

●マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会

◆第1回◆

日時：平成24年6月29日(金) 18:30~20:00
 場所：新座キャンパス花隈メモリアルホール
 テーマ：自立した女性になるために
 講師：政所 利子氏
 (株式会社玄 代表取締役・跡見学園短期大学国文科 卒業)
 参加者：222名

◆第2回◆

日時：平成24年12月6日(木) 18:20~19:50
 場所：文京キャンパス M2101プロッサムホール
 テーマ：企業研究の方法を理解する講座
 講師：柳本 新二氏 (Good Will Educations 代表)
 参加者：421名

●FDワークショップ

◆第1回◆

日時：平成24年7月4日(水) 10:40~12:10
 場所：新座キャンパス図書館第二閲覧室
 テーマ：インターンシップについて
 司会：菊野 一雄
 講師：芝原 慎次氏
 (本学マネジメント学部マネジメント学科 教授)
 廣田 純氏
 (本学マネジメント学部マネジメント学科 准教授)
 鷹 咲子氏
 (本学マネジメント学部マネジメント学科 准教授)
 篠原 靖氏
 (本学マネジメント学部観光マネジメント学科 准教授)
 参加者：約10名

◆第2回◆

日時：平成25年2月6日(水) 10:40~12:10
 場所：新座キャンパス図書館第二閲覧室
 テーマ：学部全体の教育プログラムに関することについて
 講師：石渡 尚子氏
 (本学マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授)
 「キャリアデザイン講演会について」
 崔 勝漢 (チェ・スンホ) 氏
 (本学マネジメント学部マネジメント学科 教授)
 「アカデミア(春学期初頭の合宿オリエンテーション)について」
 内村 理奈氏
 (本学マネジメント学部生活環境マネジメント学科 助教)
 「学部発表会(秋学期初めの展開ゼミ・演習の発表会・ゼミ説明会)について」
 参加者：23名

以上

全学共通科目運営 センター主催 FD 講演会実施報告

2012年度全学共通科目運営センター主催FD講演会は、インテル株式会社教育統括部教育事業開発部長の竹元賢治先生をお招きして、10月31日に新座キャンパス図書館視聴覚ホールで行われた。

演題は「21世紀型教育とICT活用教育について」であった。インテル社は近年、筑波大学・つくば市との地域連携協定をはじめ、「産学官連携の教育」に力を入れている。講演者の竹元先生は、教育現場をはじめとした多くの場所で「ICT(情報通信技術)を利用した授業運営」について、これまで数々のご講演経験をお持ちである。

講演内容は、はじめに近年日本各地の教育現場で行われているICTを利用した事例およびその効果(興味・関心・意欲の向上、教員側の授業改善・効率化等)を、映像を交えながら丁寧に紹介して頂いた。特に熊本県人吉市の公立小学校で行われた電子黒板を活用した事例では、大学教育の場でも実践できる可能性を見出すことができた。

次に、「授業中、学生の意見が聞きたいが、積極的に手を挙げる学生が少ない場合に、今ある教材で何かできないか?」というテーマについ

て、Facebookをはじめとした、授業内でのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)活用の提案があった。これは本学の教員の多くが頭を悩ませている問題であり、情報セキュリティや導入費用など慎重に検討すべき点があるものの、大いに参考になったと思われる。

全学共通科目は大人教教室で講義を行う科目も少なくなく、個々の学生の反応を確認しながらのインタラクティブな授業運営は容易ではない。また、例えばICTの活用等を通じて視覚・聴覚に直接訴えるような工夫がないと、全学生に興味を持ってもらいながら効果的に授業を展開するのも難しい。今後も継続的に新たな教育方法の実践例の紹介を行い、FD講演会や研修会が多くの先生方にとって、より効果的な授業を模索できるような情報収集・意見交換の場になればと考えている。

全学共通科目運営センター長 石田 信一



キャリアデザイン 講演会実施報告

2012年12月6日に柳本新二さんをお招きして「企業研究の方法」というタイトルでマネジメント学部・キャリアデザイン講演会を開催しました。12月1日に企業の採用活動が解禁されたこともあり、3年生を中心に374人の参加がありました。文京キャンパスでの開催でしたが、新座キャンパスからわざわざ参加した2年生も多かったです。

柳本先生は、就職支援 Good Will Educations の代表、NPO 若者キャリア研究所の理事を務めていらっしゃいます。SPIの攻略法に関する本を多数出版されているほか、これまで教育産業界で4万人以上の受講生を持つ「カリスマ講師」です。

講演は、今年の就職戦線の特徴をまとめた内容からスタートしました。企業研究の方向性としては、企業の求める人物像を知り、それが自分に

合っていることをアピールすることが重要だということでした。エントリーシートの書き方については、良い例、悪い例を具体的に示していただきました。学生が実際に書いたエントリーシートを例に、なぜこのエントリーシートは悪いのかを丁寧に説明していただきました。さまざまな実践的なアドバイスもありました。たとえば、自己PRでは「協調性」、「責任感」、「忍耐強い」などの言葉を使いがちですが、他人と差別化できないので使わない方がよい、などです。学生の聞く姿勢は真剣そのもので、講演後も講師に対する質問の長い列ができました。学生のアンケートを見ると非常に好評で、ほかのテーマでも講演してほしいという要望がいくつもありました。



～森鷗外生誕150年記念事業～

鷗外作品を読む「朗読コンテスト」を開催

跡見学園女子大学・文京区共催

(協力：財団法人NHK放送研修センター日本語センター)

文京区ゆかりの文豪・森鷗外の生誕から150年にあたる2012年。さまざまな記念行事が行われました。そのひとつとして、10月13日(土)に跡見学園女子大学と文京区の共催による「朗読コンテスト」が、本学プロサラムホールにおいて開催されました。

本学園の山崎一頼^{ササキ}理事長は森鷗外研究の第一人者であり、森鷗外記念会会長等も務めています。また、本学には、アナウンス・朗読など実践的な日本語運用能力を養成する教育を行っているコミュニケーション文化学科があり、朗読に精通したアナウンサー出身の教員が在職しています。このような関係から、森鷗外の文学作品を題材にした朗読コンテストを開催することになりました。

コンテスト出場者を全国より広く公募したところ、6歳から80歳まで老若男女の応募があり、その数も143名と予想をはるかに上回るものでした。財団法人NHK放送研修センター日本語センターの協力による事前録音審査を経て選ばれた15名が、本選に出場することになりました。

当日は、中学校、高等学校の放送部に在籍する生徒や読み聞かせのボランティアをしている方など、13歳から80歳と幅広い年齢層の出場者が、『雁』『最後の一句』『高瀬舟』『山椒大夫』などの作品を朗読しました。朗読終了後には、審査結果発表までの間、本学園卒業生で結成された「紫音会アンサンブル」によるマンドリンのミニコンサートが行われました。馴染みの曲『イタリア民謡』『浜辺の唄』『いい日旅立ち』『花は咲く』などの演奏で会場は一層盛り上がりました。

審査員長のコミュニケーション文化学科広瀬修子教授(元NHKアナウンサー)を中心に、財団法人NHK放送研修センター日本語センター チーフ・アナウンサー伊藤文樹氏、特別審査員のエッセイスト森美奈子氏(森鷗外の曾孫)の3名による厳正な審査の結果、北海道が

ら参加した60代の女性が最優秀賞に選ばれ、優秀賞4名、特別賞2名、それぞれの受賞者に記念の楯と賞状、副賞に図書カードが贈られました。記念の楯は、鷗外の顔のレリーフメダル(ブロンズ製)

が施された特注品で、受賞者は特別の楯を手に喜びを隠せない様子でした。審査結果については、審査員長からきめ細かな講評があり、出場者、観覧者にもとても判りやすく参考になるものでした。最後に、最優秀賞受賞者の朗読がもう一度披露され、好評のうちにコンテストの幕は閉じられました。この様子は、後日、文京区のケーブルテレビでも放映され、出場の記念として15名全員に録画した映像をDVDにして贈りました。

観覧者も250名を超す多くの方々が登場し、皆さんが熱心に耳を傾けていたことがとても印象的でした。「朗読」の経験者だけでなく、初めて「朗読」を聞いた観覧者からも、「目を閉じると物語の景色が見えるようだ」「朗読の魅力に触れることができた」「機会があれば、また聴いてみたい」など好評の言葉を数多くいただきました。

また、同時に森鷗外特別展示「鷗外の愛した子どもと草花」が同キャンパス内で開催され、こちらも多くの来場者で賑わいました。

「朗読コンテスト」を開催するという初めての試みに、スタッフが事前に幾度も綿密な打合せを行い、当日を迎えることができました。出場者、観覧者ともに朗読の楽しさを共有することができ、有意義な場になったことは開催者側の大きな喜びとなりました。



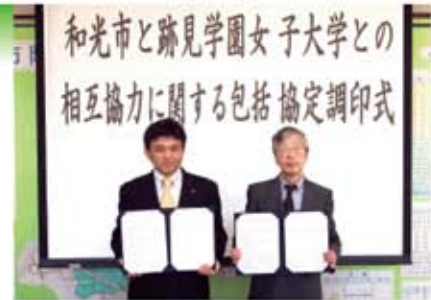
埼玉県和光市との包括協定の締結について

本学ではキャンパス所在地である埼玉県新座市・東京都文京区、そして前号でご紹介いたしました福島県会津若松市に続き、平成24年11月22日(木)に埼玉県和光市と「和光市と学校法人跡見学園 跡見学園女子大学との相互協力に関する包括協定」を締結しました。

これまで和光市とは、インターンシップ生の受け入れや和光市審議会等への学識委員の派遣などの交流を行ってきました。今回の協定では、学術研究の発展及び施策の充実のため協力し、相互の活動の交流を図るとともに、人材育成と地域社会の発展に寄与することを目的として

おります。本学の
新座キャンパス
近隣である和
光市と協定を結
ぶことにより、
本学と和光市の
持つ資源を相互
に活用すること

で協体制を確立し、埼玉県内での連携を強化することで更なる発展を目指していきます。



包括協定調印式の様子
松本武洋 市長(左)と山田徹雄 学長(右)

英国国立スターリング大学から学長来校

平成24年11月12日、語学研修協定校である英国国立スターリング大学から学長(Professor Gerry McCormac)と、国際交流課のディレクター(Ms Kerry Bryson)が本学へ来校しました。英語授業を見学し、学生とも直接お話しをしていただきました。大学の

新座キャンパス・文京キャンパス見学の他、跡見学園中高の御茶室では生徒が御点前を披露し、伝統ある女子教育を行なう跡見への理解を深めていただきました。

毎年、本学から30~40名



英語の授業を見学



跡見学園中高
御茶室にて



新座キャンパス
花咲記念資料館にて



文京キャンパス
書道教室にて

の学生が1カ月の語学研修でスターリング大学を訪れています。英語を母国語としない留学生への英語教育(ESL)においては丁寧で面倒見の良い指導と、徹底したアウトプット型の授業に定評があり、英国大学ランキングでは常に上位にランクインしている大学です。本学では今後もスターリング大学との友好関係を築き、国際交流事業を推進していきます。

文京博覧会に出展

文京博覧会(ぶんぱく)2012は11月16日(金)、17日(土)に文京シビックセンターで開催されました。『ぶんぱく』とは文京区内の産業や商業、地元大学等の団体と文京ゆかりの都市のお国自慢物産販売と活動展示を行うイベントです。本学からは芝原ゼミ、村上ゼミ、エコキャンパス研究会(パネル展示のみ)が参加しました。当日参加した芝原ゼミ、村上ゼミの担当教員よりメッセージをいただきました。



マネジメント学部マネジメント学科 教授
芝原 脩次



芝原ゼミは展示ブースで、ゼミ制作のBーぐるバス放映DVDを上映し、また文京の文豪人気投票を実施しました。商品販売ではべったらプロジェクトで商品開発した「ゼロったら」を販売し雨天にも関わらず完売。「昨日買って美味しかったので今日も買いに来たわ」という方が多く好評でした。文京区の「朝顔・ほおずき市」や日本橋大伝馬町の「べったら市」で跡見を知っている方も多く、日頃のゼミ活動の成果を感じる2日間でした。

マネジメント学部観光マネジメント学科 准教授
村上 雅巳

村上ゼミは「文京博覧会」に今回初めて参加しました。ゼミ生たちは、情報発信エリアでは東日本大震災の観光復興支援を目的に観光庁が中心に推進している「東北観光博覧会」のPRを手作りの東北観光地図などを用いて精力的に行うとともに、物販エリアでは観光まちづくりをゼミとして継続的に連携支援している新潟県上越市板倉区の上越産コシヒカリや日本酒などの販売支援を行いました。

いずれのエリアでも観光による地域活性化を学んでいるゼミとして実践の場で接客スキルを学ぶとともに本学の地域貢献や地域連携への取組みを多くの来場者の方々に強くアピールすることができたと思います。



CLUB NOW

軟式野球部

2012年11月18日、私たち軟式野球部は念願の秋季リーグ戦全勝優勝を果たしました。この結果に至るまでは、なかなか思うように成績が伸びませんでした。優勝を前提としていた春季リーグで、まさかの準優勝。夏の全国大会では、納得のいく試合は出来たものの勝利には結びつきませんでした。そして、どうしても結果が欲しいと思って臨んだ今期の集大成となるこの大会で、やっと結果を残すことができました。寒い冬も暑い夏も努力してきた成果が優勝という形で残せたことに、野球部一同、大変満足しております。この優勝は私たちの力だけでなく、顧問の中谷先生をはじめとする大学関係者の方々、父母・OG、地域の方々等、たくさんの方に応援して頂いたからこそ手にすることができたと思っております。支えて下さった全ての方に感謝致します。本当にありがとうございました。4月に開幕するリーグ戦も連覇を目指し頑張りますので、今後も軟式野球部をどうぞよろしくお願い致します。



跡見ウィンドオーケストラ部

こんにちは。跡見ウィンドオーケストラ部です。11月23日(金)新座市民祭に参加致しました。当日はあいにくのお天気でしたが、観客の皆さんが演奏した「ジャパニーズグラフィティⅫ」「風になりたい」を手拍子で聞いてくださったので、私たちの気分はまさに青天、とても爽快でした。私たちは「明るく楽しく皆で上達しよう」を合い言葉に、和気あいあいと活動しています。吹奏楽未経験の方も大歓迎です。毎週月・水・金曜日の放課後に新座キャンパスで活動しているので、のぞいてみてください！



防犯リーダー

私たち防犯リーダーは、跡見生に女子学生が遭遇しやすい事故や犯罪について知ってもらい、自分の身は自分で守るといった防犯意識を高めることで被害者にならないことを目的として設立されました。その活動の一環として、10月18日には、新座警察署と共同で「痴漢注意」を呼び掛けるチラシを新座駅前配布致しました。また、11月27日には防犯リーダー主催「護身術教室」を新座キャンパス体育館で開催致しました。講師に新座警察署の方をお招きし、実際に身体を動かしていざというときの対処法を学びました。「後ろから抱きつかれるなどしたら、相手の小指をつかんで腕を解くなどして犯人の隙を突いて逃げるのが大切」といった具体的なお話があり、参加者からは「防犯意識が高まった」「大変参考になった」との声が聞かれました。



今後も、「自分の身は自分で守る」を合い言葉に活動していきたいと思っております。防犯リーダーの活動に関心のある方は、是非一緒に活動しましょう！

マンドリンクラブ

私たちマンドリンクラブは、11月24日(土)武蔵野市民文化会館小ホールで第46回定期演奏会を開催致しました。魔女の宅急便のエンディングテーマ「やさしさに包まれたなら」を皮切りに全9曲、約1時間の演奏会でしたが、ホールいっぱいに響くたくさんの拍手を聞き、様々な課題を仲間と一緒に乗り越えてきたことが報われた気が致しました。



これからも一生懸命練習に励みますので、ぜひ演奏会にいらしてください。次回は5月4日タワーホール船堀で行われる3女子大学のジョイントコンサートです。皆さまのご来場をお待ちしております。

学生会情報

学生会本部

校舎の桜のつぼみも色づき始め、春の訪れを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。私たち学生会本部からはご報告が2つあります。

1つ目は学生会選挙の結果です。学生会会長に長 沙織(人文学科2年)、副会長に堀田華加(臨床心理学科2年)、小嶋冬子(マネジメント学科1年)がそれぞれ選出されました。新役員一同、先輩方の教えを受け継ぎ



つつ私たちならではの学生会を作り上げるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2つ目は12月16日(日)に行われたクラブリーダー交流会についてです。今回は「ダイバーシティ&コミュニケーション(違いを認め合うことで互いの能力を発揮し、良き成果を出す)」というセミナーを受講。キャリアトラップを使って自己理解を深めるなど、クラブ活動のみならず将来に向けてヒントを得た気が致しました。

最後になりましたが、学生会本部は、学生会の一員である学生の皆さんと共により良い大学生活の実現のために、これからも活動してまいりますのでご支援の程よろしく願いいたします。



川口B級グルメフェスティバルに参加

マネジメント学部生活環境マネジメント学科4年 石渡ゼミ

私達、石渡ゼミは今年も“川口B級グルメフェスティバル”に参加しました。このイベントは食を通じて人々が賑わうことと共に、地域活性化を目的としています。私達がイベントに参加してから3年目になりますが、今年は出店だけではなく初めて運営に携わることになりました。より多くの



来場者を集めてイベントを盛り上げたいという思いから、地元川口の店舗だけではなく、埼玉県で開催されたB級グルメ大会で結果を残した店舗を調査し、ゼミ生が直接各店舗を訪ね、出店して頂けるよう依頼に行きました。また3年生

は、毎年恒例のATOMI団子にアレンジを加え、ハロウィン使用のさつまいもとかぼちゃのマッシュを出店し、800食を売り切ることができました。4年生は、ステージの司会進行や東日本大震災遺児のための就学支援ビンゴ大会を企画し、イベントを盛り上げました。当日は、朝から雨が降っており心配していたのですが、ビンゴ大会も大盛況で14万円近くもの支援金を集めることができました。



石渡先生や商工会の方々との打ち合わせ、ゼミ内での話し合いなど、ゼミ長になってからは毎日が慌しく、失敗はもちろん、辛いと感じることもありました。しかし、33名のゼミ生が機能的に動くためには情報共有が重要であること、ひとりで仕事を抱え込まないために相談や役割分担が必要であることなど学んだことも数多くあります。4月からは社会人になりますが、この経験を活かし、チームの一員として会社に貢献していきたいと思いを。

—「大学生観光まちづくりコンテスト2012」優秀賞を受賞— ～小田原の地域活性化プランを提案～

マネジメント学部観光マネジメント学科3年 村上ゼミ

観光庁や文部科学省などが後援し、学生が自由な発想で考えた地域活性化プランを発表し、優秀なプランは旅行会社などで商品化やプロジェクト化も検討される『大学生観光まちづくりコンテスト2012』(2012年9月12日開催)にマネジメント学部観光マネジメント学科の村上ゼミから複数のチームが参加し、27大学75チームの中から、私たち「team MASAMI」がフリーテーマ部門で優秀賞(第2位)を受賞しました。

私たちは、明治期に小田原～熱海間を走行していた「豆相人車鉄道」を観光資源として活用することによって、小田原市を活性化させるというプランを考案しました。

チームはゼミが始まる4月に結成され、どのようにして小田原の知名度を上げるかが課題となり、そのヒントとなったのは、同学科の小川功先生の授業で人車鉄道を学んだことと現地での精力的な取材です。そこで、人力で客車や貨車を押す「豆相人車鉄道」に観光資源としての価値を見出し、地元市民の間でも認知度の低い“人車”を取り上げ、市民の意識も刺激して共に観光を盛り上げる観光まちづくりプランを作成しました。発表は、当時の人車を押していた車丁の格好で行い、人車を押す車丁の様子を再現するなどわかりやすさを意識しました。10分間の発表に人車の魅力を詰め込み、埋もれていた観光資源にスポットライトをあてた新規性が高く評価されました。

今後も埋もれている地域資源を最大限活かした観光地域づくりを考えていきたいと思いを。



産学連携プロジェクトとして参画

文京区コミュニティバス「Bーぐる」

マネジメント学部マネジメント学科4年 芝原ゼミ

文京区コミュニティバスBーぐる沿線協議会の「Bーぐるでつながる新しいコミュニティ創出事業」が東京都新公共支援モデル事業に採択され、芝原ゼミは2012産学官連携プロジェクトとして参画しました。地域に埋もれ留まっている情報をコミュニティバスが仲介役となって発信し、沿線コミュニティの活性化と、新たなつながりを創造することが目的です。私たちは、沿線の地域団体やイベント・活動内容をコンテンツとした地域情報発信番組(DVD)を制作し、バス車内のマルチビジョンで10月から20分番組を放映開始。12月・2月に更新致します。ゼミではAGB隊(跡見ガールズBーぐる隊)を編成し、取材・出演・撮影・編集を「映像学習インストラクター」の方と連携して制作しました。1本目は

「AGB隊が行く!Bーぐるで巡る文京区」と題し、白山神社・根津神社・富士神社・六義園を取り上げ、私たちの楽しみ方とその近辺の気になるお店を紹介しました。2本目は「沿線のお祭り特集」と題し、文京区内6ヶ所のお祭りに足を運び、お神輿を担ぎ、民謡を踊って、地域の方々との交流を紹介しました。ここでも地元のレストランや和菓子店を発掘し、グルメリポーターとして跡見食感を伝えました。3本目は、文京「文人銘菓17品」を一挙に紹介。また11月にオープンした「森鷗外記念館」を特集致しました。「文京の跡見」として更に多くの方々に、Bーぐるを利用した「素敵な文京まち歩き」を提案したいと考え、今後も取材を重ねていきます。



ゼミ紹介

文学部臨床心理学科 教授
藤澤 伸介

記者：藤澤先生の御専門は何ですか？

藤澤：教授学習心理学、認知カウンセリング等です。

記者：ゼミには、どのような学生が集まりますか？

藤澤：臨床心理学だけでなく、認知心理学、教育発達系心理学、社会心理学など色々な領域に関心のある学生が集まります。心理学であれば、どの領域の研究で卒論を書いても良いと認めているからだと思います。



記者：臨床心理学科の他のゼミとどこが違いますか？

藤澤：卒論開始前に、3年生各人に「ミニ研究」を一つ仕上げさせていることです。勿論

自由テーマです。データ収集や分析、論文作成の練習になりますし、研究の楽しさが味わえ、達成感も得られて、良い事づくめです。

記者：運営に当たって心がけている事はありますか？

藤澤：学生の方々は、折角藤澤ゼミを選んで来て下さっている訳ですから、「選んで良かった」と思ってもらえるようにアットホームな雰囲気作りを心がけています。

記者：ゼミ生の方々からもコメントを頂きましょうか。

学生 T：藤澤先生は多方面にわたり知識が豊富なので、色々な話を私達からお願いして皆で楽しんでますよ。

学生 H：授業計画、課題内容や提出期日が早めに示されるので、自分の予定が組みやすく助かりますね。

学生 M：藤澤先生がユニークなせいか、学年の中でもユニークな学生が集まっている気がするなあ。(笑)

記者：本日は取材への御協力、有難うございました。

生活環境マネジメント学科 助教
内村 理奈

2年生の「ファッションと環境マネジメントゼミナール」と3、4年生合同の「ファッション文化ゼミナール」を担当している。

2年生はリメイクファッションショー（跡見ガールズコレクション）を行っている。衣類のリサイクル率が極めて低いことに着目し、不要な衣類や布類を集め、それをもとに、学生たちがテーマを決め、デザイン画を描き、衣裳制作をし、ショーの演出を考え、全員がモデル出演する。ファッションショーに関わる一連の作業を、ひとりひとりが一から行い、ゼミ仲間と共にショーを作り上げる過程は、ものづくりの意義と、チームワークの大切さを学ぶ場になっている。インターンシップとファッションショーを終えた学生たちは、自分の成長を実感し、充実した1年間を過ごしたことで

自信もつくようである。

3、4年生のゼミでは、座学を中心にしながら、課外活動にも取り組んでいる。ゼミでは、論文講読、展覧会・美術館見学の報告、アパレル業界紙である織研新聞の講読やグループディスカッションを行い、秋学期の後半はテーマを決め個別研究にも取り組ませている。課外活動としては、今年度は文京エコリサイクルフェアに参加し、手作りの髪飾りやコースターなどを販売し、ささやかなものではあるが、収益金をユニセフに募金した。

学生の自主的な活動と研究をサポートしつつ、ファッションビジネスの世界で、元気いっぱい活躍する人材を育成していきたい。



現代文化表現学科

学科報「Visions」第3号刊行

文学部現代文化表現学科 富川 淳子

現代文化表現学科設立と共に創刊された「Visions」は、2012年8月に3号目を刊行した。学生たちが大学での学びに磨きをかけるという目的と、企画立案から取材、原稿執筆にいたるまで、すべてを学生が担当し、デザイナーやカメラマンなど第一線で活躍するプロたちと完成させるプロセスは従来通りである。

ただ、3号目の「Visions」には新たな試みを加えた。そのひとつは前号までの1年生有志による編集、課外活動であった位置づけの変更である。今号は本学科の専門科目「ライティング特殊演習」の課題とし、この科目を履修する3年生19名が編集に取り組んだ。また、3

年生の就職活動を意識して、テーマを「ファッション界のクリエイティブな仕事」としたことも新しい挑戦といえるだろう。ファッション界で活躍するクリエイターへのインタビューを通じて、学生たちが目指すクリエイティブな仕事の幅広さや必要な能力などを知り、「仕事する自分」を真剣に考える機会にしたのである。

以上の試みは、「Visions」に新しい役割を託し、同時に「Visions」が抱えるさまざまな問題の解決を狙うものでもあった。しかし、進化は次なる課題をもたらす。学生たちにとって「Visions」の編集体験がより価値あるものになるよう、新たな試みという試行錯誤を続けていかなければならない。来年も3年生が進化する「Visions」作りに格闘する予定である。



紫 祭 報 告



ごきげんよう。第45回紫祭実行委員長です。「青春桜歌～SKR45～」をテーマに11月3日・4日に開催しました第45回紫祭は、11月とは思えないほど暖かな天候にも恵まれ、過去最多の参加団体が、実行委員会がテーマに込めた願い「今だからこそ出来ることを目一杯楽しみ、伝統ある跡見でこの紫祭がいつまでも色あせない思い出となるように」を体現しました。ご来校いただいた皆様にも跡見生の青春を感じていただけた2日間であったのではと思っています。

第45回紫祭が無事終了できましたのも、学長先生を始め、教職員の方々、地域の方々、団体の方々、紫祭に足を運んで下さった方々のお陰です。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。今年度の反省を生かし、「第46回紫祭」をより良いものにしていくため、実行委員一丸となって励んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



子ども大学にいざへの参加

平成24年度より、本学は、埼玉県が大学、NPO等と協力して実施する「子ども大学にいざ」に参加をしました。この目的は、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供することです。4回開催された授業のうち、本学は、第3回「再生紙を作ろう！」（平成24年10月20日、講師：マネジメント学部宮崎正浩教授）、と第4回「体験！百人一首一こころの歌をよむー」（平成24年11月10日、文学部植田恭代准教授）を担当しました。第3回では、マネジメント学部宮崎正浩教授の再生紙に関する講義後、エコキャンパス研究会の学生が補助をしながら、子ども達が再生紙を作成しました。第4回では、文学部植田恭代准教授の百人一首に関する講義後、子ども達が植田ゼミの学生の補助で和歌を詠みました。2回に渡る本学の授業では、子ども達が先生の話に真剣に耳を傾け、楽しみながら大学での授業を満喫していました。第4回の授業の後に行われた修了式では、本学の大塚博副学長から子ども達に、修了証が手渡され、全員が無事子ども大学にいざを修了しました。



第3回「再生紙を作ろう」の授業の様子

活躍するOGの企業訪問

～一年目のChallenge。広告代理店で挑戦し続ける、市塚敦子さんをクローズアップ～

DACグループ
 (株)デイリースポーツ案内広告社 営業部1部
 市塚 敦子さん(2012年3月マネジメント学科卒)

❖仕事「Works」

(株)デイリースポーツ案内広告社で広告営業をしています。商材は主に雑誌、TV、新聞で、最近はWeb広告も増えています。入社9カ月目(取材時)ですので、直接的な顧客はまだまだですが、現在、新規顧客獲得のために日々努力しています。



オフィスにて

❖現在の「Challenge」

入社してよかったと思っています。新規顧客へのアプローチは、広告パーソンとして頭も使うし体力も必要です。そんな時は、いつも上司、先輩を含め社員が皆暖かい人達なので助けてもらっています。時には愚痴を言ったり、「またネガティブになってる」と言われたり(笑)。私強そうに見えてそうでもないんです。結構へこむこともあります。

色々な場面で“成長の場”が用意されている会社だと実感しています。「成長の場＝積極的に前に出ていかななくてはいけないという事」であり、そういった意味でも私自身に合っているし、成長を実感できます。「私すごいことやってるな」みたいに。

❖今後の「Challenge」

まずは、目標数字をクリアすることによる成果を認めてもらうことです。そして、固定のクライアントを作りたい。「市塚さんだから仕事をお願いしたい」と言っていただける仕事をしていきたいですね。



営業の必須アイテム
 ペンは、新人賞を取った時に会社から頂いたもの。

❖跡見生にむけての「Message」

自分らしく何でもチャレンジしてほしいと、本当に思います。自分を出さなくては先に進まない、色々な経験をしてほしい。勉強も遊びも、そして就職活動も。「みんなと一緒に」だけでなく、「一人で何かをする」ことが必要です。自分ならどうするかということです。

入社1年目には見えない、しっかり前を見据えた姿勢と、仕事に対する確固たるものを感じました。同期の中でもトップクラスの成績を誇っているとのことで、今後の市塚さんの活躍が目に見えます。でも、お酒はほどほどにしてくださいね(笑)。
 (インタビュー 就職課)



Corporate Profile
 DACグループ (株)デイリースポーツ案内広告社
 1962年10月創業 2012年DACグループ創立50周年。
 事業内容：新聞、雑誌、電波、Web等の広告及びパブリックリレーション業務
 広告、宣伝に関する企画・制作

－ザ・就職－

平成24年度就職懇談会の総括と今年度就職活動の行方

就職部長 マネジメント学部教授 大野 二郎

1. 平成24年度就職懇談会の総括

平成24年度就職懇談会は、昨年11月13日に文京キャンパスにて行われ、通算で17回目となる。平成8年度に開始された本懇談会は、参加頂いた企業の採用担当の方々からの貴重な改善提案やご意見を踏まえ、また参加した学生たちの希望や反省点を反映し、学園・学内のご理解・ご支援のもとに、今年度も「学生が主役で参加」方式で実施した。

出席者は①企業105社・114名（昨年度86社・90名）、②学生75名（同68名）、③大学（法人を含む）18名（同18名）を数えた。経団連の申し合わせで、昨年度より3年生への就職活動の解禁日が、それ以前よりは2カ月遅れの12月1日となっている。また「学歴不問」をうたう企業は少なからずある中で、「学歴フィルター」があるとのウワサも根強い。こうした厳しい雇用環境が続くなかでの、この時期に、ご参加いただいた企業、担当の方々、ともに大きく増加したことは、大変ありがたいことと感謝している。

第一部のプログラムの後半においては、初めての「現代文化表現学科」及び「観光マネジメント学科」3年生による学科紹介が行なわれた。2つの新学科では、学生による本格的な雑誌「Visions」を刊行したり、会津若松市を始めとする地方都市の観光活性化を支援する「ニューツーリズム研究会」など、それぞれユニークな活動を実施しており、こうした実績を反映した、新学科のお披露目を行なった。

第二部は、3年生と企業の採用担当の方々との懇談会である。この懇談会は「学生自身」が「自らの思いと志を真摯に企業人に伝える場」であり、「学生の生の姿と言葉」を企業の人事担当者に直接伝える機会として理解している。一層厳しくなる雇用環境の中で、最後まであきらめずに就職活動をしている、先輩達の姿を目の当たりにしていることもあり、3年生の懇談会への参加意欲は、例年に劣らず高かった。会場の許す範囲で最大限の人数の参加を認めたため、企業の方々との学生達とで懇談会は大いに盛り上がった。

昨年度より内定率が上昇しているとのマスコミ情報はあるが、雇用環境の厳しさは、変わらず続く中で、4年生の苦戦を目の当たりにしているため、意識の上で相当の覚悟をもって、自らの就活を開始する覚悟を固めているようである。このような状況での、企業人との直接の意見交換会は、参加した3年生（平成26年3月卒業生）にとって、本番に向けた緊張とともに収穫の大きな刺激となる時間になることができたと思われる。

懇談会にご参加いただいた採用担当の方々、例年、意欲に溢れる学生たちへの対応で、飲食をする時間が足りない、との学内からの指摘を踏まえ、今年度はさらに時間配分を工夫した。100社を超える企業のご参画を頂いて、3年生との熱意溢れる懇談会を開催できたことは、本学にとって極めて力強いエールとなっており、深く感

謝したい。

今回も新たに参加頂いた企業や若手の採用担当者があり、その中には本学の卒業生も複数を数え、回答企業の多くから積極的なご支援と評価を頂いた。アンケートへの回答内容は晶屑のコメントと割り引いても、全体として力強く、好意的な意見を頂戴できたことは、大変ありがたく、就職課への強力な励ましになっており、今後の懇談会開催の際の指針として活用させていただく。

2. 今年度の就職支援活動の概況

この就職懇談会に加えて、就職支援活動は従来の活動に加えて、新規の取り組みを行っている。主な支援活動では、従来型としては、①大学に有資格者が定期的に訪問して、各学生に求人情報の提供や面接対応などの指導を行う、ハローワークによる出前の就職支援サービス、②内定状況の全体像を早期に把握するために、(キャリア)アカデミック・アドバイザーの協力による4年生の内定状況の情報収集、等を実施している。また、③3年生向けの企業研究会(説明会)で従来は1月開催であったが、学生の選択肢を広げ、業界・企業の理解を深めるため、参加企業のご協力を得て1月繰り上げ12月から開催した。

新規の支援活動では、④就職内定者に就活支援グループ(ATOMI 就活支援サポーターズ)に登録してもらい、実戦を体験し成功した先輩からの学生目線での在学への情報提供、アドバイス、交流の機会を儲ける仕組みである。⑤2年生対象の就活プレセミナーとして、ハローワーク等の外部専門家によるセミナー開催である。2年生は新座にあり、文京の先輩たちの活動状況を身近に見ることが少ないため、早くに刺激を与えたい狙いである。就職課の人員は限られており、学生たちの就職活動の時間も限られている。今後も効率よく、効果的な就職活動支援を行えるよう、外部の資源も活用しつつ、就職支援プログラムのスクラップ&ビルドを図っていきたい。

3. 平成24年度就職活動の行方

文部科学省から「平成24年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査(12月1日現在)」が公表された。大学新卒者の就職内定率は75.0%(昨年比3.1ポイント改善)と想像以上に高い値となっている。しかし、学生から就職課に自発的に報告される情報では、本学も例外ではなく、苦戦中である。先に挙げた新たな就職支援活動をフル稼働させて、限られた求人情報の活用、就活支援の効率的な展開を図りたい。

政権交代による、新たな経済再生の動きはあるが、経済のグローバル化が進展し、雇用環境の回復は当分の間、見込めない。まずは現在、就職活動の終盤戦を迎えた4年生対策とともに、新たに就職活動を開始した3年生対策の両面の就職支援活動が急がれる。本懇談会で得られた企業からの貴重な助言などを踏まえ、今後の就職活動の支援を展開してまいりたい。

百人一首・跡見花蹊新収資料展

本学図書館の特別コレクションである、百人一首と学祖跡見花蹊関係資料を、半年ごとに展示するようになって2年目、今回の展覧会は3回目となった。今回は、平成24年度春学期に収集した資料を展示した。

学祖跡見花蹊関係は、15点を展示した。跡見花蹊筆の書と画（合作）2点、従姉妹の跡見玉枝筆の画が5点、跡見花蹊の師の作品が2点である。特に、花蹊の書と師宮原節庵の書を並べて展示したが、興味深い展示となったと思う。

百人一首は、新収資料5点14冊に加えて旧蔵資料3点の計8点17冊を展示した。

新収資料のうち「百人一首宗成抄」は新出の百人一首資料であり、貴重である。また『絵本小倉錦』は今回10巻揃いで購入することができたものである。

また、平成24年春に京都・嵐山にある百人一首ミュージアム〈時雨殿〉リニューアルに際し、本学所蔵の「素庵本百人一首」が特別展示されたことにちなみ、旧蔵資料ではあるが、同資料を特別に展示した。また同地区にある小倉百人一首歌碑の書体に使われた資料2点、牡丹花肖柏の「百人一首」と『百鉢百人一首』の2点も合わせて展示した。

またこれに加え、本学新座キャンパスが多くの種類の桜があることにちなみ、桜に関する貴重な資料、研究紀要を1冊、日本花図絵を5点展示した。



花蹊の筆墨(38)

書軸 一幅 大正5(1916)年

勿謂今日不學而有來日 勿謂今年不學而有來年
日月逝矣歲不我延 嗚呼老矣是誰之愆
大正五年春三月
跡見花蹊瀧書好年七十七

中高の出入り口近くにあるこの石のプレート(写真1)は平成十五年春三月第116期卒業生(輝桜会)の贈り物である。読み方も

謂ふ勿れ 今日学ばずとも来日有りと
謂ふ勿れ 今年学ばずとも来年有りと
日月逝けり 歳 我と延びず
嗚呼 老いたり 是れ誰の愆ぞ

とつけられ、中高生にも読んでその意味を汲みとれるよう、工夫されている。本書は墨書(写真2)で花蹊先生の喜寿を祝い、大正五年五月八日開かれた祝賀会の返礼

として学園(当時は跡見女学校)に寄付された軸である。朱文公の勸学文を生徒教訓のために揮毫したという由来も添えられている。軸の表装には花蹊先生が三十年來お召しになられた羽織の裏地を用いられた旨が記され、裏地の模様は壽字(写真3)。周囲の祝賀の意に応えられた表装であると同時に、墨書の文は未来ある若い者たちへのまさに勸学であり、時を弄することを戒めている。平均寿命五十歳そこそこの時代の、喜寿という年齢で書かれたこの墨書の力強い文字からは、花蹊先生ご自身の生きる姿勢を伺うこともできる。



写真1 中高玄関口
右手のレリーフ



写真2 本書
大正5年 揮毫



写真3
裏地の模様

(花蹊記念資料館 館長 倉石あつ子)

平成25年度 花蹊記念資料館 開館予定

期 間	展覧会名 第1展示室	展覧会名 第2展示室	備 考
4月2日(火)~5月31日(金)	学園創立者跡見花蹊の横顔	新収蔵資料展	入学式開館
6月15日(土)~7月31日(水)	アトミ・アート展	(仮)コレクション展 第1回	オープンキャンパス 開催日は臨時開館
9月25日(水)~11月3日(日)	跡見 廉書会 第7回 OG 作品展	(仮)コレクション展 第2回	紫祭期間中開館
11月20日(水)~12月21日(土)	企画展	(仮)コレクション展 第3回	
2014年1月21日(火)~2月3日(月)	博物館実習生による模擬展示		入試当日は閉館します
3月20日(木)~3月31日(月)	学園創立者跡見花蹊の横顔		桜まつり開館

展示期間、展示内容は変更する場合がございます。

◆春の行事予定◆

3月	18日(月)	第45回学部卒業式・第7回大学院修了式
	19日(火)	謝恩会
	30日(土)	桜まつり(一般公開)
4月	3日(水)	第49回入学式
	8日(月)	春学期通常授業開始

●履修申請●

Web 履修登録申請期間

- 1次 <2・3年生> 4月8日(月)、9日(火)
 <1・4年生> 4月10日(水)、11日(木)
 2次 <全学年> 4月15日(月)、16日(火)

履修登録状況(抽選結果)

発表 4月15日(月)、18日(木)

履修登録訂正手続期間 4月18日(木)、19日(金)

新年度オリエンテーション予定

学部 新1年生対象

4月2日(火)	一人暮らしのガイダンス 学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象)
3日(水)	入学式・新入生説明会 (午前:文学部、午後:マネジメント学部)
4日(木)	<文学部のみ> 学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科プログラム・グループミーティング・資格課程ガイダンス
5日(金)	<マネジメント学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・個別面談
6日(土)	<文学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・個別面談 <マネジメント学部のみ> ATOMI アカデミア(～4/7) <外国人留学生のみ> 外国人留学生オリエンテーション

学部 新2年生対象

4月5日(金)	<マネジメント学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部プログラム・学科ガイダンス・個別面談・健康診断
6日(土)	<文学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科プログラム・グループミーティング・個別面談・健康診断

学部 新3年生対象

4月2日(火)	<文学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科プログラム・グループミーティング・個別面談
3日(水)	<編入生のみ> (午前:文学部、午後:マネジメント学部) 入学式・編入生説明会・学科ガイダンス・単位認定のための面接
4日(木)	<マネジメント学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部プログラム・学科ガイダンス・個別面談

学部 新4年生対象

4月2日(火)	<文学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科プログラム・グループミーティング・個別面談・健康診断
4日(木)	<マネジメント学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部プログラム・学科ガイダンス・個別面談・健康診断

大学院生対象

4月3日(水)	<両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)> 入学式・専攻説明会(午前:人文科学研究科、午後:マネジメント研究科)
4日(木)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス・専攻ガイダンス
6日(土)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス・専攻ガイダンス

平成24年度 保護者説明会 終了報告

本学では毎年高崎・新潟・宇都宮・仙台・文京の5会場において、保護者の方を対象とした「保護者説明会」を開催しております。本学の教育や進路支援の実施状況について学長・副学長・学部長をはじめとする本学の教員や職員よりご説明しております。今年度も8月25日に高崎、26日に新潟、9月1日に宇都宮、2日に仙台、10月20日に文京会場にて開催いたしました。今年度は5会場合計458名の保護者の方にお越しいただきました。

全体の説明会終了後には「各学科内容・履修」「就職・進路」「学生生活(奨学金・クラブ活動等)」「国際交流」について個別相談を行ないました。普段、保護者の方が抱えている疑問について、たくさんのご質問をいただき、一つ一つ回答することで保護者の方々にご理解を深めていただきました。

次年度も各会場にて保護者説明会を開催する予定ですので、ぜひ多くの方にお越しいただければと思います。



個別相談の様子

桜まつり・オープンキャンパスのご案内

3月30日(土) 新座キャンパスにて開催!

◆予約不要◆



桜まつり

開催時間

10:30～14:30



オープンキャンパス

開催時間

10:30～15:30

桜まつりは毎年行われており、40種180本以上もの桜がご覧いただけます^(*)。当日は香道体験会や、図書館・花蹟記念資料館内の見学もできます。また3月1日(金)～5月15日(水)の期間は桜観賞のため構内を一般開放しています。

※時期により咲いていない桜もございますのでご了承ください
 受験生向けのオープンキャンパスでは学食体験・キャンパスツアー・スタンプラリー・模擬授業など、たくさん企画をご用意しております。

どちらも予約不要ですので、ぜひ皆さまお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

●編集後記●

今号は特に学生の活動がたくさん詰まった内容となりました。これからも学報では本学の情報から活躍している学生まで幅広く、そして逸早く皆様にご紹介していきたいと思っております。